

# 日印原子力協定 社説比較

2016年11月11日 日印原子力協定へ署名  
ちなみに11月22日時点で産経新聞は社説テーマにしていません。

読売新聞

902万部

## 日印首脳会談 原発協力で戦略関係深めたい

11月13日社説

協定と付属文書は、  
インドが核実験をした場合の協力停止を明確にした。  
国際原子力機関（IAEA）の査察受け入れも明記した。  
国際的な不拡散体制にインドを実質的に組み込み、  
軍事利用に強い歯止めをかけることが重要だ。

原発をはじめとするインフラ輸出は、  
安倍政権の成長戦略の柱である。  
日本の原発メーカーには、輸出の実現への期待が高い。  
(中略)

日本の高い原子力技術を生かすことは日印双方に利益がある。

日経新聞

273万部

## 拡大余地は大きい日印関係

11月13日社説

電力不足が深刻なインドは原発の増設を進めている。  
日本は提供した技術などが軍事転用されないよう注視しつつ、  
**インドが安全に原子力を利用できるよう**  
**協力していくべき**だろう。  
NPT加盟を働きかけていくことも大切だ。

毎日新聞

309万部

## 日印原子力協定 被爆国の意志はどこへ

11月12日社説

日本は核実験停止を協定に盛り込むよう  
インドを説得すべきだった。  
唯一の被爆国としての意志を貫けなかつたことは残念だ。  
インドはやはりNPT未加盟で核を保有する隣国パキスタンを  
にらみ、核実験の権利を手放したくないのだろう。

被爆国として日本が維持してきた道義は、  
この協定で傷ついたのではないだろうか。

参考資料  
①全国紙の販売部数  
読売新聞広告ガイド 販売部数（2016年1~6月平均）  
<http://adv.yomiuri.co.jp/yomiuri/circulation/national01.html>

②東京アドレップHP 取り扱い媒体一覧（2015年7~12月）  
[http://www.adrep.co.jp/media\\_list/](http://www.adrep.co.jp/media_list/)

③中国新聞発行部数（2016年6月）  
<http://www.ad-chugoku.com/circulation/>

658万部

## 日印原発協定 被爆国の立場忘れたか

11月12日社説

外務省は「インドが締結済みの協定の中で、最も厳しい米印協定と同等だ」と説明するが、それは被爆国としての独自の主張と上乗せした歯止めがないに等しいことを意味する。

被爆国が、核不拡散の国際規範を崩してはならない。国会での徹底審議を与野党に求める。

51万部

## 日印原子力協定 被爆国への信頼なくす

11月15日社説

核兵器を持ちながら核拡散防止条約（NPT）に加盟しないインドに原発輸出の道を開いたのは、核不拡散の理念に逆行する行為ではないか。

日本がNPTに未加盟のインドに対し、原発と関連技術を輸出するのは、危機に直面する核軍縮・不拡散体制をいっそう弱体化する恐れがある。

61万部

## 日印原子力協定署名 核拡散に手を貸すのか

11月12日社説

安倍首相は、協定によってインドは実質的に不拡散体制に参加させることになると詭弁に近い説明をした上で「核兵器のない世界を目指すわが国の立場に合致する」と言ってのけた。被爆地として到底容認できない。

被爆国の責務を置き去りにして原発輸出に前のめりな日本政府に福島の被災者も神経を逆なでされたのではないか。その点、インドは平和利用といつても事故時の賠償規定や避難計画も不十分で、反原発運動が根強いことも忘れてはならない。協定は国会議決が必要で、通常国会の焦点となる。ここは承認すべきではない。

**党派を問わず、被爆国の役割を思い直すべきだろう。**

## 最後に一言

広島の地元紙「中国新聞」が一番怒っています。そして、長崎の地元紙「長崎新聞」。ここも怒っています。ホームページで社説は読めない（そもそもない？）のですが、11月14日付『水や空』というコラムでこの件に触っています。

自動車メーカー「ホンダ」創業者 本田宗一郎氏の  
 「これは、タンスだの呉服を売るのとは違って、人間の生命に関することなんだから、  
 その点に一番気をつけなければならない」という言葉を引いた後で、  
 『原子力技術の輸出をビジネスチャンスと考えるこの国の今を、どんな思いで眺めているだろう。  
 大事故を起こして安全性の不安な車ですが、走るのはよその国ですから  
 一こんな言い草を聞いたら、血相を変えて怒り出すに違いない』  
 『福島第1原発事故の処理は途上なのに。  
 多くの原発は運転が止まったままなのに。  
 再稼働を巡る不安や不信の声は尽きないのに』  
 そしてコラムの最後は  
 『「唯一の戦争被爆国」の看板はどこかに引っ込めて、商魂たくましく目先の利益にひた走る「安倍商店」。  
 のれんの信用に、消えにくい傷がまた一つ。』

全国紙は福島に触れず、中国新聞、長崎新聞（こちらはコラムですが）ともに福島に触れています。  
 これはたまたまなのか。。私は「原発を輸出する」という行為自体がやっちゃんげないこと、と言い続けるべきだと思います。